

5th RIKEN HACKATHON 2023 in KOBÉ

2023 / 10 / 24 - 27

10/24 火 公開シンポジウム ● 神戸キャンパス(融合連携イノベーション推進棟(IIB)8階講堂)&オンライン

理化学研究所では、研究分野を超えた効果的な研究加速や研究成果の社会還元等を図るため、研究のデジタル変革(研究DX)やオープンサイエンスを推進しています。これらの活動の中で、信頼性の高い良質なデータの利活用が重要な課題の一つとなっています。本シンポジウムでは、研究分野を問わず、研究データの収集、解析、利活用それぞれで世界の最前線で活躍する研究者にご講演頂き、新たな知の獲得に向けた研究データ利活用の現状と将来について議論します。

13:00-13:10 ● 開会挨拶
美濃 導彦 (理化学研究所 情報統合本部)

13:10-13:40 ● 基調講演1
'Knowledge Representation:
the role of semantics in scientific research'
Ana-Claudia Sima
(SIB Swiss Institute of Bioinformatics)

データコンテンツセッション

13:40-14:00 ● 「生命科学データの統合で見えてくるもの」
山本 泰智
(ライフサイエンス統合データベースセンター)

14:00-14:20 ● 「転写制御理解のための統合的データ基盤の開発」
粕川 雄也
(理化学研究所 生命医科学研究センター)

14:20-14:50 ● 基調講演2
「我が国がもつべきデータ管理戦略について
- 諸外国との連携を含めて -」
山地 一禎
(国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター)

14:50-15:00 ● 休憩

データ管理セッション

15:00-15:20 ● 「研究者に役立つ研究データ流通・管理システム
って何だろう? - 全学機器共用の立場から」
古谷 浩志 (大阪大学コアファシリティ機構)

15:20-15:40 ● 「R2DMSの機能および発展的利用法」
貫本 英之 (理化学研究所 情報統合本部)

データ利活用・応用事例紹介

15:40-16:00 ● 「マルチオミクス解析から農業デジタルツイン開発へ」
市橋 泰範
(理化学研究所 バイオリソース研究センター)

16:00-16:20 ● 「環境・材料データサイエンスと予測科学」
菊地 淳
(理化学研究所 環境資源科学研究センター)

16:20-16:40 ● 'Designing a Semantic-Enhanced Hybrid
Search Engine for Biomedical Events'
Rangel Reyes Julio Cesar
(理化学研究所 情報統合本部)

16:40-16:50 ● 総合討論

16:50-17:15 ● ハッカソン参加チーム紹介

17:15-17:20 ● 総括・閉会の言葉
小林 紀郎 (理化学研究所 情報統合本部)

10/25 水 - 27 金 ハッカソン ● 神戸キャンパス(融合連携イノベーション推進棟(IIB)6階サロン)

チームを組んでデータサイエンスや研究DXに係るアイデアを出し合い、成果物(仕様書、プログラム・ツール類)を開発する作業を行う企画です。

10/25 水 チームセットアップ、開発議論

10/26 木 開発議論(午後、富岳見学会を挟む)

10/27 金 開発議論、ラップアップ

事前登録



https://krs2.riken.jp/m/hackathon_r5

上記サイトに事前登録をお願いします。なお、参加申し込み数が定員に達した場合には、参加申し込みを締め切らせていただきます。



主催 国立研究開発法人 理化学研究所 情報統合本部 基盤研究開発部門
問い合わせ 国立研究開発法人 理化学研究所 情報統合本部 基盤研究開発部門
データ知識化開発ユニット
isc-dko-secretary@ml.riken.jp